

大清水中だより

教育理念 自由と責任

教育目標 よりよく生きる力を育成する

2026年(令和8年)6月 日発行 6月号

藤沢市立大清水中学校 〒251-0002 藤沢市大鋸 1400 TEL 0466-50-8353 校長 山下 尚子

学校ホームページ <http://www1.fujisawa-kng.ed.jp/johsh/>



境川沿いのアジサイが色鮮やかに咲き始め、今年も美しいグラデーションが初夏の訪れを告げています。

保護者の皆様におかれましては、部活動保護者会や引き渡し訓練、そして体育祭と、連日の行事にもかかわらず足をお運びいただき、心より御礼申し上げます。体育祭当日はあいにくの天候となりましたが、実施の判断をいたしました。厳しいコンディションの中、競技にも係活動にも全力を尽くす生徒たちの姿は輝かしく、多くの保護者の皆様から感動のお声をいただきました。肌寒い中、終始熱い声援と拍手で会場を包み込み、生徒の背中を押してくださった皆様の温かいサポートに、深く感謝申し上げます。

また、日頃からの体操服の準備や多めの水分補給、ご家庭での励ましの声かけなど、多大なるバックアップをありがとうございました。おかげさまで、生徒たちは熱中症などで体調を崩すこともなく、毎日の練習を重ね、その成果を本番で遺憾なく発揮することができました。

さらに、体育祭の開催にあたりましては、「大清水の会」ボランティアの皆様にも多大なご協力をいただきました。学校を支えてくださるすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

体育祭「一致団結!絆を深めて勝利を掴め」

「一致団結!絆を深めて勝利を掴め」のスローガンのもと、生徒が輝き躍動する



心に残る宣誓

体育祭でした。どのブロックの3年生も「自分たちが1、2年生を盛り上げる!」という気概にあふれ、練習を積み重ねてきた足跡が見える、充実した体育祭となりました。

約2週間の練習期間、3年生は最高学年としての頼もしい

姿へ成長し、後輩をそして自分たちを励まし続けました。1、2年生は先輩の活躍する様子を目標にして一生懸命に取り組んできました。クラスで跳ぶ大縄跳びでは、なかなか回数を重ねられない下級生を3年生が励まし、教え、助言や応援するだけでなく、時には代わりに回し、回し方や跳び方を伝授する場面もありました。大縄だけでなく、どの種目でも「一生懸命がかっこいい」と感じさせ、「やりきる」姿を見せてくれました。

練習では思うとおりに進まないことも数々あったと思いますが、諦めずに声をかけ続け、励まし合った毎日を過ごしたことは、このあとの皆さんの栄養になることでしょう。

皆さんの頑張りに心からの拍手を送ります!!



シンボルマーク

何度も励まし合った円陣



われらの伝統!



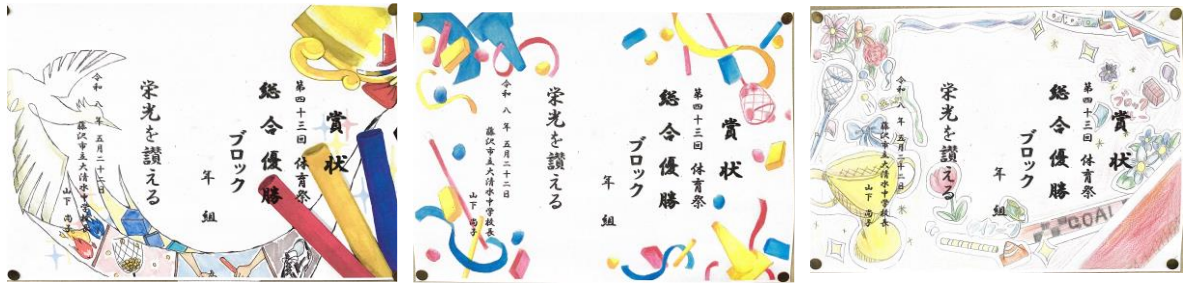
準備:水抜き泥だらけ

総合優勝

黄ブロック 31組 21組 14組

優勝できるのは1ブロックだけ。

悔しい気持ちもあるけれど、讃え合う皆さんが素敵でした。



↑ 唯一無二。美術部さんたちが作ってくれた賞状です。

当日できなかったフォークダンスや部活動対抗リレーを週明けの26日と27日の昼休みに行いました。

いい笑顔が見られました。昨年度に引き続き、職員も参戦!(写真が撮れず、残念!)

< 3年生の感想から 抜粋 >

どの学年も頑張りました。大清水中生、素敵です。今回は3年のみ紹介させていただきます(_ _)

○大縄では、全然記録が伸びなくて、くじけそうになったけど、仲間からの声かけでもっと頑張ることができた。勝つことはできなかったけど、最高記録の「192回」、合計で「317回」も跳べてすごうれしかった。

○いろんな練習を考えて、自分なりに意味のある練習をした。

○泣けた、ってことはそれだけ真剣に練習に取り組めたってことだし、みんなで応援して団結できた。

○玉入れの練習は「ただ投げる」だけの練習などせず、玉を拾ってから投げるまでのスピード、量をレベルアップさせるための練習を行った。1回も練習時間を無駄にしていないと思う。

○当日は雨ですごい大変だったけど、「自分の種目はないからのんびりしていよう」、という人が一人もいなくて、ずっと応援していたのがすごい良かったなと思いました。

○雨だったからこそ、大きな声で応援していた感じがとてもよかった。

○やり残したこととか、後悔とか、一生懸命やったのでないです。

○3年の言うことを1・2年生がしっかり聞いてくれた。種目長が自覚を持って動いてくれていた。ブロック関係なく、お互い助けあっていて体育祭だけでなく他の学校生活でもいい影響を及ぼすと思った。

○みんな自分にできる最大の応援をしていて、絶対勝ちたい、という気持ちが重なりました。

○雨が降ってて、皆が通るところ泥でぐちゃぐちゃになったところを係みんなで石や砂を埋めた。その行動がみんなの役に立って良かったなと思いました。

○ふだん悲しくて涙が出るとか、映画見て、とかはあるけど、うれしくて自然に涙が出てくる、っていうのが初めてで、自分でもびっくりして友達と抱き合ったときに一番涙が出てきて止まらなくてうれしかったー!

○種目長の〇〇さんが、いつも選手のレベルを上げるだけでなく、みんなが楽しめる練習方法を考えてくれ、人数が集まらなくても弱音をいわず、ポジティブにみんなをまとめ上げていました。

○たくさんの方がいろいろな場面で協力し合ったり、めちゃくちゃ頑張っていて、感謝の気持ちでいっぱいです。この体育祭を通して、1・2年生とも仲良くなれたり、とても良い機会だったと思います。ブロック長、体育委員、みんな、本当に本当にありがとう!

「ありがとう」を1日20回言うと人生が変わるよ、と以前ある先生が言っていたことがあります。体育祭はたくさん「ありがとう」を言えた機会でした。感謝の気持ちを伝えられる人になっていってくださいね。

【小中合同引き渡し訓練】

5月29日(金)、隣の大清水小学校と日時を合わせて引き渡し訓練を行いました。多くの保護者の方々のご参加をいただき、大きな混乱無く、お子様を引き渡すことができました。お忙しいところ、ご協力いただき、感謝申し上げます。

実施して初めてわかることもありましたので、お知らせします。

○教室棟と特別教室棟との分かれ目には、どの階にも裂け目があります。東日本大震災の際に建物が揺れ、できた裂け目です。(構造の安全上、裂けるようになっているそうです。)こちらは、現在、落下防止に鉄板でふさいでありますが、次に大きな地震が起きた時は、さらに大きな裂け目になる可能性があります。そのため、

地震の際は、らせん階段(昇降口西側)は使わない

ということを皆さん知っててください。



天井や床に注目

【新しい気象警報等による登校の対応の変更について】

6月に入り、各メディアでも紹介されていますが、気象の警報などが大きく変わりました。6月2日のすぐーるでもお知らせしていますが、警報・注意報の情報に「レベル」が付記されました。洪水警報、洪水注意報が廃止され、河川の区分により「レベル3大雨警報」が発令(境川はこちらの区分)されます。藤沢市には氾濫警報の出る河川はありませんが、警戒情報が発令されるなど、危険と判断される場合は、登校を見合わせてください。

本校では、朝6:30の時点で藤沢市に「大雨」「暴風」「大雪」「暴風雪」「土砂災害」のいずれか一つ以上の「警報」「危険警報」「特別警報」が発令されている場合は、登校させず、自宅待機としてください。連絡メールが届かない場合は警報が解除されるまで自宅待機をお願いします。

警報が出ていなくても、ご家庭で危険と判断された場合は登校を見合わせてください。

その場合は、すぐーるの欠席連絡を使ってお知らせください。遅刻・欠席など配慮できる場合があります。

【熱中症の予防を!】

6月に入り、湿度が上がり、暑さも本格的になる日も多くなります。猛暑と言われる暑さも、年々厳しくなっています。そこで、藤沢市教育委員会では、昨年度から学校教育活動等における熱中症事故の防止について、「暑さ指数に応じた活動指針」を定めています。暑さ指数(WBGT)が31以上の場合、運動活動は特別な場合を除いて中止とし、生徒・教職員の安全を守るための適切な措置を講じます。熱中症の兆候が見られた場合には迅速に体を冷却し、教室や体育館ごとの環境に応じて活動内容を調整します。また、換気や日よけを利用するなどしてまいります。ご家庭でも、お子様に「自分自身が体調管理をする」という重要性を理解させるとともに、自ら体調不良と感じられる場合にはためらいなく教職員等に申し出るよう、お伝えください。さらに、必要に応じていつもより多めに水分を持たせたり、服装で体温調整ができるようにするなどお願いします。「熱中症は100%防げる!」といわれています。みんなで防いでいきましょう!



【新しい職員紹介】

6月8日(月)～ 5組特別支援級非常勤講師 森田雅久先生



【6月14日 アジサイまつり@藤沢清流高校】

三者連携ふじさわ大清水心のかけはし会が中心となり、大清水地域を盛り上げるお祭りが6月14日(日)、藤沢清流高校で開催されます。本校からは吹奏楽部の発表(1年生、デビューです!)、模擬店の販売ボランティア、青少協のクラフトづくりボランティア、ボランティアの人たちを支えるボランティアなど、本校有志も活躍する予定です。昨年度は、水害対策のための「水のうづくり」について発表しましたが、今年度も地域に向けた発信をしていきます。ぜひ、吹奏楽の発表や、防災について知る機会としてご家族でお祭りに参加しませんか?

昨年度のもの→



【学校運営協議会(コミュニティスクール)】

本校は、3年前からコミュニティスクールとして、生徒や保護者、教職員が地域の方々と共に学校をつくっており、学校運営協議会の委員の皆様、学校運営に係る助言をはじめ、ご協力をいただいています。今年度からは、大清水小学校と合同でコミュニティスクールを始めることといたしました。地域、保護者、学校の三者連携や藤沢清流高校を交えた三校交流、日頃の取り組みについて、年間4回の協議会のなかで、大清水小学校と連携し、地域のなかの学校として教育の充実を図ります。



○学校運営協議会委員の皆様○

- 安藤 正俊 様 (三者連携ふじさわ大清水心のかけはし会会長)
- 吉田 正彦 様 (大清水中学校 第9代校長)
- 三木 英正 様 (神奈川県立藤沢清流高校校長)
- 吉田 純 様 (大清水中学校地域学校協働本部コーディネーター 本校保護者 OG) ↑5組の作品
- 野際 良介 様 (聖園子供の家 施設長)
- 小西 智子 様 (藤沢市東部地区主任児童委員 本校保護者 OG)
- 磯貝 憲一 様 (大清水地区社会体育振興協議会)
- 橋本 幸直 様 (藤沢市民センター長 本校第1期入学生 2期卒業生)
- 皆川 沙登美 様 (本校大清水の会 役員)
- 依田 萌 様 (大清水小学校 保護者)
- 佐藤 由美 様 (大清水小学校地域学校協働本部コーディネーター 本校保護者 OG)

生徒、保護者、地域と作る より良い学校に向けて、ご協力をいただきます。よろしく願いいたします。